

# 通貨選択型明治安田グローバル 高配当株式ファンド・ マネープール・ファンド

## 償還運用報告書(全体版)

〈繰上償還〉

第6期(信託終了日 2016年 5月19日)

受益者のみなさまへ

平素は「通貨選択型明治安田グローバル高配当株式ファンド・マネープール・ファンド」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、信託約款の規定に基づき、償還の手続きを行い、2016年5月19日に繰上償還いたしました。

ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

長い間ご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都港区虎ノ門三丁目4番7号

<http://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉

サポートデスク 0120-565787  
(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/債券	
信託期間	信託期間は2013年11月21日から2016年5月19日(当初、2018年11月20日)までです。	
運用方針	この投資信託は、安定した収益の確保を目指して運用を行います。	
主 運 用 対 象	通貨選択型 明治安田 グローバル高配当 株式ファンド・ マネープール・ ファンド	明治安田マネープール・マザーファンドを主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	明治安田マネープール・マザーファンド	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
組 入 制 限	通貨選択型 明治安田 グローバル高配当 株式ファンド・ マネープール・ ファンド	株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への直接投資は行いません。投資信託証券への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以内とします。
	明治安田マネープール・マザーファンド	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。外貨建資産への投資は行いません。
分 配 方 針	3月、9月の各20日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。 ②収益分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

## ◎設定以来の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	純資産総額
	(分配落)	税込み分配金	期中騰落率		
	円	円	%	%	百万円
(設定日) 2013年11月21日	10,000	—	—	—	0.1
(第1期) 2014年3月20日	10,002	0	0.0	87.9	0.1
(第2期) 2014年9月22日	10,002	0	0.0	88.9	0.1
(第3期) 2015年3月20日	10,003	0	0.0	88.6	0.1
(第4期) 2015年9月24日	10,006	0	0.0	78.2	0.1
(第5期) 2016年3月22日	10,011	0	0.0	74.2	0.1
(償還時)	(償還価額)				
(第6期) 2016年5月19日	10,011.00	—	0.0	—	0.1

(注1) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注2) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注3) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注4) 当ファンドは、国内短期金融資産への投資を通じて安定的な収益の確保を目指して運用を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
	円	騰落率 %	
(期首) 2016年3月22日	10,011	—	74.2
3月末	10,010	△0.0	74.2
4月末	10,010	△0.0	74.1
(償還時) 2016年5月19日	(償還価額) 10,011.00	0.0	—

(注1) 騰落率は期首比です。

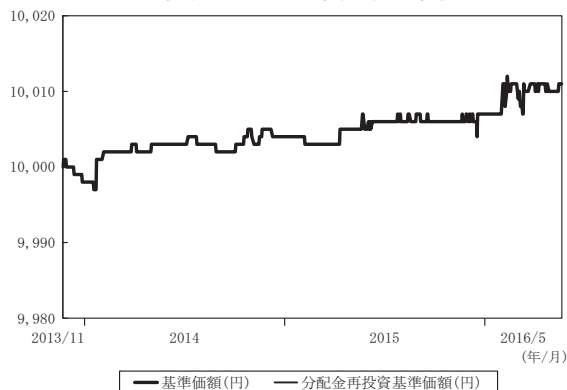
(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

## ◎設定以来の運用経過 (2013年11月21日～2016年5月19日)

## 1 基準価額と収益分配金

基準価額は設定時10,000円から償還日10,011.00円で終わりました。設定以来お支払いした分配金はございませんでした。

通貨選択型明治安田グローバル高配当株式ファンド・  
マネープール・ファンド  
設定以来の基準価額の推移



## (1) 基準価額の推移と主な変動要因

当ファンドは「明治安田マネープール・マザーファンド」に投資することにより実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みになっています。

## &lt;第1期 (2013年11月21日～2014年3月20日)&gt;

当ファンドの基準価額は設定時10,000円で始まり期末10,002円で終わりました。騰落率は、+0.02%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

設定時～期末

(上昇要因)

- ・明治安田マネープール・マザーファンドで組み入れていた国庫短期証券の金利相当分の収益などがプラスに寄与したこと。

## &lt;第2期 (2014年3月21日～2014年9月22日)&gt;

当ファンドの基準価額は期首10,002円で始まり期末10,002円で終わりました。期首比変わらずとなりました。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

期首～期末：横ばい

(上昇要因)

- ・明治安田マネープール・マザーファンドで組み入れていた国庫短期証券の金利相当分の収益などがプラスに寄与したこと。

(下落要因)

- ・信託報酬等のファンドに係る費用を計上したこと。

## &lt;第3期 (2014年9月23日～2015年3月20日)&gt;

当ファンドの基準価額は期首10,002円で始まり期末10,003円で終わりました。騰落率は、+0.01%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

期首～期末：横ばい

(上昇要因)

- ・明治安田マネープール・マザーファンドで組み入れていた国庫短期証券の金利相当分の収益などがプラスに寄与したこと。

(下落要因)

- ・信託報酬等のファンドに係る費用を計上したこと。

## &lt;第4期 (2015年3月21日～2015年9月24日)&gt;

当ファンドの基準価額は期首10,003円で始まり期末10,006円で終わりました。騰落率は、+0.03%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

期首～期末：上昇

- ・明治安田マネープール・マザーファンドで組み入れていた国庫短期証券ならびに政府保証債の金利相当分の収益などがプラスに寄与したこと。

## &lt;第5期 (2015年9月25日～2016年3月22日)&gt;

当ファンドの基準価額は期首10,006円で始まり期末10,011円で終わりました。騰落率は、+0.05%でした。

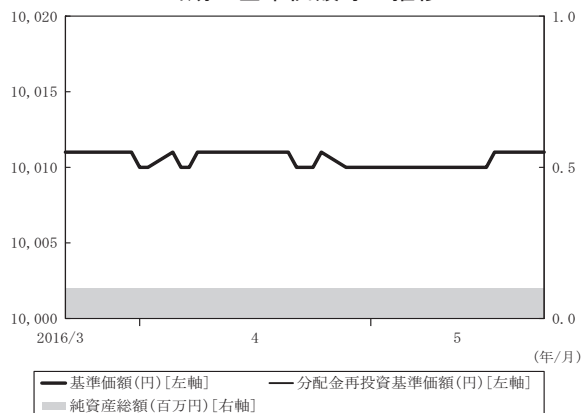
基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

期首～期末：上昇

- ・明治安田マネープール・マザーファンドで組み入れていた政府保証債の金利相当分の収益に加え、日銀によるマイナス金利導入の決定を受けて組み入れていた政府保証債の価格が上昇したことなどがプラスに寄与したこと。

## <第6期（2016年3月23日～2016年5月19日）>

### 通貨選択型明治安田グローバル高配当株式ファンド・マネープール・ファンド 当期の基準価額等の推移



基準価額は期首10,011円で始まり償還日10,011.00円で終わりました。騰落率は、期首比変わらずとなりました。

基準価額の変動要因は以下の通りです。

期首～償還日：横ばい

- ・明治安田マネープール・マザーファンドの基準価額が横ばいで推移したこと。

## (2) 収益分配金

- ・収益分配金は、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案した結果、設定以来見送りとしました。
- ・収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行いました。

## 2 運用経過

### (1) 運用概況

当ファンドは「明治安田マネープール・マザーファンド」に投資することにより実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みになっています。マザーファンドへの投資比率を高位に保つとの運用方針を踏まえ、期を通じてマザーファンドへの投資比率を高位に保ちましたが、償還を控え期末にかけてマザーファンドを全て売却しました。

### (2) 明治安田マネープール・マザーファンドの運用概況（2016年3月23日～2016年5月19日）

期首の運用方針に従い安定した収益の確保を目指して、残存期間が比較的短い政府保証債を組み入れた運用を行いました。

この結果、当期の基準価額は、期首の10,031円から10,031円で期末を迎え、期首比変わらずとなりました。この主な要因としては、組み入れていた政府保証債の金利相当分の収益が上昇要因となった一方、同債券の時価変動が下落要因となりました。

## ◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	(2016年3月23日～2016年5月19日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	0 円	0.004 %	(a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額 × 期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は10,010円です。
(投信会社)	(0)	(0.001)	ファンドの運用、基準価額の算出、法定書類の作成等の対価
(販売会社)	(0)	(0.003)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(0)	(0.000)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用 = 期中のその他費用 ÷ 期中の平均受益権口数
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合 計	0	0.004	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、簡便法により算出した結果であり、実際の数値とは異なります。  
なお、当期間において信託報酬の計上はございませんでした。その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎**売買及び取引の状況** (2016年3月23日～2016年5月19日)

○親投資信託の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
明治安田マネープール・マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 89	千円 90

(注)単位未満は切り捨て。

◎**利害関係人との取引状況等** (2016年3月23日～2016年5月19日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎**自社による当ファンドの設定・解約状況** (2016年3月23日～2016年5月19日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取 引 の 理 由
円 100,000	円 —	円 —	円 100,000	当初運用時における取得等

(注)単位未満は切り捨て。

◎**組入資産明細表**

償還時における親投資信託の組入残高はございません。

○親投資信託残高

項 目	期 首	当 期		末
	口 数	口 数	評 価	額
明治安田マネープール・マザーファンド	千口 89	千口 —	—	千円 —

(注)口数の単位未満は切り捨て。

## ◎投資信託財産の構成

2016年5月19日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	100	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	100	100.0

(注)評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎資産、負債、元本及び償還価額の状況

2016年5月19日現在

項 目	償 還 時
(A)資 産	100,110円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	100,110
(B)純 資 産 総 額 ( A )	100,110
元 本	100,000
償 還 差 益 金	110
(C)受 益 権 総 口 数	100,000口
1 万 口 当 た り 償 還 価 額 ( B / C )	10,011円00銭

(注1)当ファンドの期首元本額は100,000円、期中追加設定元本額は0円、期中一部解約元本額は0円です。

(注2)1口当たり純資産額は1,0011円です。

(注3)損益の状況の中で(B)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

## ◎損益の状況

自 2016年 3月23日  
至 2016年 5月19日

項 目	当 期
(A)前 期 繰 越 損 益 金	80円
(B)追 加 信 託 差 損 益 金	30
( 配 当 等 相 当 額 )	( 107)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 77)
償 還 差 益 金 ( A + B )	110

## ◎投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年11月21日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2016年5月19日		資産総額	100,110円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減又は追加信託	負債総額	-円
				純資産総額	100,110円
受益権口数	100,000口	100,000口	-口	受益権口数	100,000口
元本額	100,000円	100,000円	-円	1万口当たり償還金	10,011.00円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	100,000	100,018	10,002	0	0.0000
第2期	100,000	100,024	10,002	0	0.0000
第3期	100,000	100,029	10,003	0	0.0000
第4期	100,000	100,056	10,006	0	0.0000
第5期	100,000	100,110	10,011	0	0.0000

## ◎償還金のお知らせ

1万口当たり償還金(税込み)	10,011円00銭
----------------	------------

※償還金は、償還日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。



# 明治安田マネープール・マザーファンド

## 運用報告書

### 第4期

(決算日 2015年10月15日)

「明治安田マネープール・マザーファンド」は、2015年10月15日に第4期決算を行いました。  
以下、当マザーファンドの第4期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	この投資信託は、安定した収益の確保を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融資産を主要投資対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合は、純資産総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資は行いません。

## ◎設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債券組入比率	純 資 産
		期 中 騰 落 率			
(設定日) 2011年11月30日	円	—	%	%	百万円
(第1期) 2012年10月15日	10,000	—	%	—	40
(第2期) 2013年10月15日	10,008	0.1	%	74.9	40
(第3期) 2014年10月15日	10,017	0.1	%	99.8	40
(第4期) 2015年10月15日	10,022	0.0	%	97.2	493
(第5期) 2015年10月15日	10,025	0.0	%	86.0	3,831

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドは、国内短期金融資産への投資を通じて安定的な収益の確保を目指して運用を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

## ◎当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債券組入比率
		騰 落 率		
(期 首) 2014年10月15日	円	—	%	%
10月末	10,022	—	%	97.2
11月末	10,023	0.0	%	97.8
12月末	10,024	0.0	%	98.4
2015年 1月末	10,023	0.0	%	98.4
2月末	10,023	0.0	%	98.4
3月末	10,022	0.0	%	98.3
4月末	10,022	0.0	%	98.4
5月末	10,024	0.0	%	68.1
6月末	10,024	0.0	%	96.2
7月末	10,025	0.0	%	58.6
8月末	10,025	0.0	%	97.7
9月末	10,026	0.0	%	89.6
10月末	10,025	0.0	%	86.1
(期 末) 2015年10月15日	10,025	0.0	%	86.0

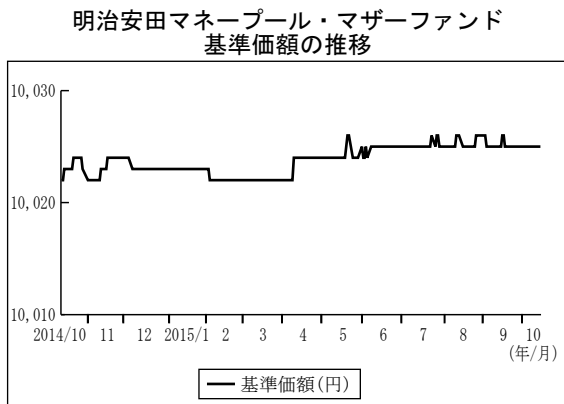
(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは、国内短期金融資産への投資を通じて安定的な収益の確保を目指して運用を行います。当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数は設定しておりません。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2014年10月16日～2015年10月15日)

1 基準価額

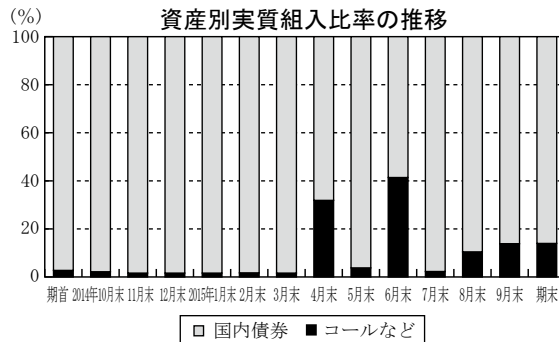
基準価額の推移と主な変動要因



当期の基準価額は、期首の10,022円から期末には10,025円となり、当期の基準価額の騰落率は+0.03%となりました。この主な要因としては、組み入れていた国庫短期証券ならびに政府保証債の金利相当分の収益などが挙げられます。

2 運用概況

当マザーファンドは、国内発行体の公社債、転換社債、ユーロ円債、資産担保証券ならびにCD、CP、コールローン等の国内短期金融商品を主要投資対象としています。日銀が大胆な金融緩和政策を継続し、当期を通じて短期金利が低水準で推移する中、当マザーファンドでは運用の基本方針に従い安定した収益の確保を目指して、国庫短期証券および残存期間が比較的短い政府保証債を組み入れた運用を行いました。



※組入債券の評価額合計に対する比率

3 今後の運用方針

当マザーファンドでは、引き続き運用の基本方針に従い安定した収益の確保を目指して運用を行います。

## ◎1万口当たりの費用明細

該当事項はございません。

## ◎売買及び取引の状況(2014年10月16日～2015年10月15日)

### ○公社債

		買付額	売付額
		千円	千円
国	国債証券	1,599,988	2,079,986
	特殊債	3,710,590	401,716

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)単位未満は切り捨て。

## ◎主要な売買銘柄

### ○公社債

買付		当	期	売付	
銘柄	金額			銘柄	金額
		千円		千円	
第536回国庫短期証券	1,349,993			第536回国庫短期証券	1,349,994
政府保証第2回中日本高速道路債券	1,106,369			政府保証第2回中日本高速道路債券	401,716
政府保証第16回日本高速道路保有・債務返済機構債券	917,487			第453回国庫短期証券	249,998
政府保証第8回中日本高速道路債券	580,983			第520回国庫短期証券	249,997
政府保証第17回日本高速道路保有・債務返済機構債券	377,129			第466回国庫短期証券	149,997
第520回国庫短期証券	249,995			第460回国庫短期証券	79,999
政府保証第859回地方公共団体金融機構債券	201,776				
政府保証第187回預金保険機構債券	200,098				
政府保証第5回日本高速道路保有・債務返済機構債券	126,233				
政府保証第863回地方公共団体金融機構債券	101,644				

(注1)金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注2)国内の現先取引によるものは含まれておりません。

## ◎利害関係人との取引状況等(2014年10月16日～2015年10月15日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ◎組入資産明細表

## ○国内(邦貨建)公社債(種類別)

区 分	当 期		末				
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率			
				う ち B B 格 以下組入比率	5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特殊債券(除く金融債)	3,262,000	3,296,550	86.0	—	—	—	86.0
合 計	3,262,000	3,296,550	86.0	—	—	—	86.0

(注1)組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注2)単位未満は切り捨て。

(注3)－印は組み入れなし。

(注4)評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

## ○国内(邦貨建)公社債(銘柄別)

銘 柄 名	当 期		末		償 還 年 月 日
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	額	
(特殊債券(除く金融債))	%	千円	千円	千円	
政府保証第5回日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.6	125,000	125,700		2016/ 2/26
政府保証第16回日本高速道路保有・債務返済機構債券	2.0	900,000	913,581		2016/ 7/28
政府保証第17回日本高速道路保有・債務返済機構債券	2.0	370,000	376,245		2016/ 8/31
政府保証第859回地方公共団体金融機構債券	1.5	200,000	200,794		2016/ 1/25
政府保証第863回地方公共団体金融機構債券	2.0	100,000	101,199		2016/ 5/27
政府保証第187回預金保険機構債券	0.1	200,000	200,030		2016/ 7/11
政府保証第2回中日本高速道路債券	1.5	700,000	701,813		2015/12/22
政府保証第5回中日本高速道路債券	2.0	97,000	98,135		2016/ 5/20
政府保証第8回中日本高速道路債券	2.0	570,000	579,051		2016/ 8/12
合 計		3,262,000	3,296,550		

(注)額面・評価額の単位未満は切り捨て。

## ◎投資信託財産の構成

2015年10月15日現在

項 目	当 期		末	
	評 価 額	比	評 価 額	率
	千円	%	千円	%
公 社 債	3,296,550	86.0		
コール・ローン等、その他	534,825	14.0		
投資信託財産総額	3,831,375	100.0		

(注)評価額の単位未満は切り捨て。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2015年10月15日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	3,831,375,115円
コール・ローン等	526,523,638
公 社 債(評価額)	3,296,550,070
未 収 利 息	7,534,833
前 払 費 用	766,574
(B) 純 資 産 総 額(A)	3,831,375,115
元 本	3,821,921,738
次 期 繰 越 損 益 金	9,453,377
(C) 受 益 権 総 口 数	3,821,921,738口
1万口当たり基準価額(B/C)	10,025円

◎損益の状況

自 2014年10月16日  
至 2015年10月15日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	12,296,024円
受 取 利 息	12,296,024
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△12,380,876
売 買 益	91,440
売 買 損	△12,472,316
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	△ 84,852
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	1,083,996
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	9,379,769
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 925,536
(G) 計 (C+D+E+F)	9,453,377
次 期 繰 越 損 益 金(G)	9,453,377

(注1)当親ファンドの期首元本額は492,535,971円、期中追加設定元本額は3,749,850,231円、期中一部解約元本額は420,464,464円です。

(注2)当親ファンドの当期末元本の内訳は、明治安田ダウンサイドリスク抑制型グローバル・バランスPファンド(適格機関投資家私募)3,604,688,280円、明治安田先進国コアファンド(年1回決算型)67,825,604円、明治安田米国リート・インカム・プレミアム・ファンド(毎月決算型)59,868,293円、明治安田先進国コアファンド(年2回決算型)46,889,315円、明治安田中国人民元建債券ファンド Aコース(円基準)20,000,000円、明治安田中国人民元建債券ファンド Bコース(米ドル基準)20,000,000円、明治安田グローバル高配当株式(毎月決算型) Bコース(ヘッジなし)899,966円、明治安田グローバル高配当株式(毎月決算型) Aコース(リスク抑制型)599,629円、通貨選択型グローバル高配当株式(毎月決算型)米ドルコース499,749円、通貨選択型グローバル高配当株式(毎月決算型)ブラジル・レアルコース300,965円、通貨選択型グローバル高配当株式(毎月決算型)豪ドルコース140,011円、明治安田グローバル高配当株式ファンド・マネープール・ファンド89,876円、通貨選択型グローバル高配当株式(毎月決算型)メキシコ・ペソコース70,020円、通貨選択型グローバル高配当株式(毎月決算型)トルコ・リラコース29,984円、通貨選択型グローバル高配当株式(毎月決算型)ユーロコース20,046円です。

(注3)1口当たり純資産額は1.0025円です。

(注4)損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注5)損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注6)損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

- ・信用リスク集中回避のための投資制限を規定するため、信託約款に所定の整備を行いました。(2015年4月10日)